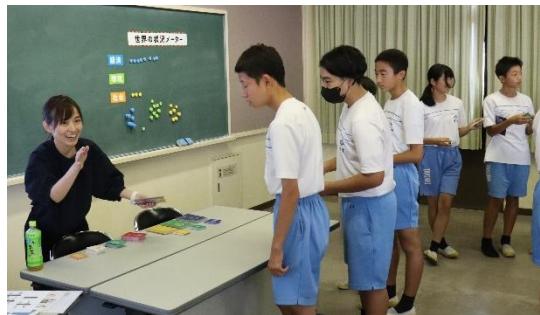




出前授業「2030 SDGs カードゲーム」

7月10日(木)、1・2年生を対象に出前授業がありました。カードゲームを通しての学習です。ゲームの後の解説と振り返りを含めると通常は3時間半程度でプレイするですが、時間の都合上、2時間でした。このゲームは子供だけなく、学校以外にも企業や自治体でも行い、大人も体験しているそうです。

カードゲーム「2030 SDGs」は、SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するゲームです。さまざまな価値観や違う目標を持つ人がいる世界で、我々はどうやってSDGsの壮大なビジョンを実現していくのか。



プロジェクトの実行（整列して待つ）

5種類の目標(GOAL)からカードで引いた目標を達成するため、各チームが国の代表者として行動します。ゲーム中、お金と時間を使って、プロジェクトを実行します。プロジェクトを実行すると、経済や環境、社会に影響がでます。

ゲーム中はそれぞれ個性が出ます。どんどんと交渉する人、目標が高すぎるようと思えて呆然としている人。なかには交渉がうまい人や積極的に協力する人も出てきます。現実世界に似ています。ゲーム中に聞こえてきた声には、「誰かお金(カード)あげるから、時間(カード)ちようだい」、「お金(カード)がほしい！」、「時間(カード)あるよ！誰か買わん?」、「交換しない？」など。途中の振り返りで、今後どうすればいいか気づく人もたくさんいました。

みなさん、とてもよく活動しました。クラスによっても個性が出ます。大人でもなかなか達成しないような高いレベルの世界をつくりあげたクラス。活発でプロジェクトが売り切れになったクラス。時間カードを使いすぎて手詰まりになるクラスもありました。

楽しかっただけでなく、深い学びがありました。感じたことを家でもぜひ話をしてみてください。



世界観、ルールの説明を聞く



ふり返りのようす